

防災対策について



質問者
南雲 まさ子 議員



(1) 地震発生時、揺れを感じて自動的に電気を遮断する「感震ブレーカー」を各家庭に設置していく必要があると思いますが、設置促進のために購入費の補助金の導入についての見解を伺います。

(2) 日頃から避難情報をいざというときにすぐに確認できるように、冷蔵庫等に貼れる防災用のマグネット付きシートを配布することについての見解を伺います。

(3) 地域ごとに防災時の避難状況が様でないため、自治会ごとに防災セミナーの開催をする必要があると思いますが、見解を伺います。

(1) 地震発生時、揺れを感じて自動的に電気を遮断する「感震ブレーカー」を各家庭に設置していく必要があると思いますが、設置促進のために購入費の補助金の導入についての見解を伺います。

(2) 日頃から避難情報をいざというときにすぐに確認できるように、冷蔵庫等に貼れる防災用のマグネット付きシートを配布することについての見解を伺います。

防災に強い町づくりに向けて



回答 (町長)

(1) 地震による火災を防ぐ有効な手段として「感震ブレーカー」の設置を回覧等で紹介し、推奨している。

「感震ブレーカー」導入の支援体制は先進自治体の状況を聞き、制度設計を検討し実施に向け検討していく。

(2) 日常生活の避難情報や防災知識を、常に意識できる防災用のマグネット付きシートを冷蔵庫等に貼ることは有益である。今後、掲載すべき内容を工夫しながら、作成に向けて研究していく。

(3) 自治会ごとの防災セミナーは、必要かつ重要である。

来年2月に開催する防災意見交換会で、各自治会の意向を確認する。今後、自主防災会と地域の特性や災害の種類について調整を図り、自治会ごとの防災セミナーの開催を進めていく。

再生可能エネルギー等について



質問者
齋藤 永 議員



本年第1回定例会で聞き取った時間が経過していますので、次の点について、質問します。

(1) 再生可能エネルギー協議会の活動状況及び地域における再生可能エネルギーの利用等の状況

(2) 健康福祉センターへ設置した新ボイラーのエネルギーサイクルの効果検証

(3) 再生可能エネルギーの利用等の促進に関する条例等の理念を新松田駅前開発へどう反映させるのか。



稼働する新ボイラー

再生可能エネルギー始めました



回答 (町長)

(1) 12月21日に令和3年度第1回の協議会の開催を予定した。利用状況は松中・旧寄中・寄小・健康福祉センター・消防団詰所(5箇所)・地域集会施設(4箇所)の屋上に太陽光発電設備を設置した。町民向けには、住宅用太陽光発電設備や省エネルギー給湯器・電気自動車導入に対する補助金制度を設けて利用等の促進を図る。

(2) 運用の初期段階で、1年を通したデータがない。

(3) 持続可能な駅周辺施設は省エネ対策を含めた整備について検討し推進する。